

特別専攻のディプロマポリシー(卒業認定・学位授与の方針)と達成度評価(教員評価)

対象学生

学籍番号

名前

評価者名

教育目標		達成目標と達成度評価					
ディプロマポリシー	教育目標の具体例	達成目標1	達成目標2	達成目標3	達成目標4	達成度評価	
技能・表現	1. 専門知識や科学的思考力に基づき、自らの考えを論理的に説明しディベートができる。	・文章表現力、読解力の能力 論理的な文章の読み方や理解する力、論理的な報告書の作成能力、成果や自分の考えを適切に文章化する力	簡単な文献や専門の書籍、実験テキストを読み、その内容が理解できる。	与えられた課題や得られた実験結果を論理的に基づいた文章として書くことができ、レポートとして仕上げることができる。	研究内容を理解し、裏付けを持って論理の一貫した文章や整合性の取れた文章を整理して書くことができる。	研究内容を的確に理解し論理の一貫した学術的な文章を作成することができる。論文として仕上げるることができる。	
	2. 英語によるコミュニケーションが取れ、プレゼンテーションができる。	・討論・報告・口頭発表の能力 論理的に結果や成果を表現する能力、図表により工夫して表現する力、成果や自分の考えが相手に的確に理解できる口答表現の力	質問者の質問の背景・意図を汲み取ることができる聴く力が身につけている。プレゼン用の資料が作成できる。	自分のプレゼン内容をまとめ、他者の意見を参考に自分のプレゼンの伝わり方を考え、伝える工夫をすることができる。	他者を理解した上で説明方法を工夫し、自分の考えや意見をわかりやすく正確に伝えることができる。	他者をもその背景まで含めて理解し、プレゼンに効果的な説明法を駆使し相手に伝えることができる。また質問に対し自分の考えを入れて説明する努力ができる。	
		・チームワーク力 社会人に必要な協調性、他者の意見も取り込み自分の考えも含めて建設的に討論できる力、自分の役割を踏まえてディベートできる力	技術者の立場に立ち、他者が置かれた状況を理解し、その人に合った適切な情報や知識を共有することができる。	グループで活動するチームワークの大切さを理解でき、グループ内での自分の役割を意識してそれに見合った行動ができる。	何をすべきか、複数の視点から判断して行動できる。チーム力が発揮できるようなチームを動かす努力ができる。	他者の考えを尊重して自分の考えと折り合わせをし、チームをまとめながら課題を遂行していくことができる。互いに信頼関係を築いて行動することができる。	
思考・判断	3. 実践的教養と論理的思考力により、自ら課題を発見し道筋を立てて解決できる。	・英語力 基本的な英会話力、英文の専門書や学術文献の読解と内容を理解する力、英語で研究発表ができる力	大学初年次の英語教材程度ならば、自ら読解できる。一部に英単語を入れた発表資料(パワーポイントやポスター等)が作成できる。	専門の英文書籍やテキストにおける英単語が理解でき、時間をかければ文章の内容を理解できる。英語を多く入れた発表資料(パワーポイントやポスター等)が作成できる。	専門の英文書籍やマニュアル、英文技術文書の内容を理解できる。英語で発表するための発表資料や発表原稿を作成することができる。	専門の英文書籍や学術論文を自ら検索して取得し、内容がほぼ理解できる。短い時間(10分程度)であれば英語による研究発表ができる。	
	4. 専門知識・専門技術を活用し、先端的研究活動や開発設計に生かすことができる。	・目標設定力、計画力 課題の解決に対して自ら目標設定できる力、課題を解決するための実施計画を作る力	シラバス等により授業の教育目標を理解し、授業計画や評価法を理解できる。	シラバスを基に、自らの学力に沿った予習や復習の計画ができる。	シラバスに基づいて科目の教育目標を理解し、自習に活用できる。自分の知識や技能に合った学習計画を立て、遂行することができる。	自分に合った学習計画を立て、その計画に沿って自学自習ができる。また自分の振り返りを基にどの点を強化すべきか次期目標設定が立てられ、継続的に行動できる。	
		・目的達成と問題発見力 与えられた課題に対して論理的に解釈し解決すべき問題点を見出す力、問題点を発案し重要度ごとに整理できる力	与えられた課題の問題点を抽出し、それらを分類し、相互のつながりを説明できる。	与えられた課題の中の問題点の最も本質となる部分を見出し、具体的に説明できる。	社会の中の問題点を自ら抽出し、そのいくつかの要因を分類することができる。	社会の中の問題点を自ら抽出し、そのいくつかの要因を分類して重要度別に整理して提案することができる。	
知識・理解	・課題解決力 得られた結果や成果から問題を発掘し解決する方法を立案できる力、課題や問題点を検証しながら解決する力	与えられた課題の問題点に対して、その解決方法を1つ程度提案できる。	与えられた課題のいくつかの問題点に対して論理的に整理し、その解決方法をいくつか提案できる。	自ら見出し出したいくつかの解決方法のうち、適切なものを選択して実行でき、考察できる。	自ら問題を発見し論理的な解決策を立てて計画的に実行できる。その結果を検証し、次の計画に反映できる。		
	・基礎学力 共通基盤教育における自然科学系や数理情報系に関する基礎知識、基礎知識を基礎専門分野に関連付けて考えていける力	数の成り立ち、単位の扱い方などを理解している。簡単な数式を使って与えられた問題を解くことができる。	大学初年次の数学や物理などが理解でき、計算問題を解くことができる。	自然科学系・数理情報系に関する知識を理解し、自分の専門分野で要求される状況下で適応できる。	自然科学系・数理情報分野に関する知識をより深く理解し、複数の知識を組み合わせて自分の専門分野に適切に適応できる。		
関心・意欲・態度	5. 常に専門分野に対する高い関心を持ち、社会のニーズに応える探求ができる。	・応用力: 専門分野の基礎知識や技術を身に付けている。専門分野を深く追求し他の専門分野にも活用できる力、専門分野の知識や技術を研究活動に生かせる力	専門分野の基礎科目やプロジェクトを学び、その内容が理解でき、説明できる。	専門分野の基礎やプロジェクトでの学修を理解している。また得た知識をより上位の専門科目の内容に関連付けて理解していくことができる。	専門分野の科目の内容が論理的に理解でき説明できる。複数の専門科目について、多面的な見方でそのつながりを理解できる。	専門分野の卒業研究やプロジェクトなどで研究を遂行できるに相応しい知識や考察力が身につけていて、それらを生かすことができる。	
	・技術者としての社会的責任、倫理観、技術者としての役割 科学技術・社会・自然環境に関する倫理観を持ち、それらを実社会に適応する力。技術者としての社会的役割の理解。	科学技術者としての倫理的側面を、社会や自然環境との関わりの中で説明することができる。	科学技術が社会や自然環境に与える影響について、自ら調査し裏付けを持って説明できる。	身につけた倫理観を他者(社会)との関わりに適応し、より良い組織や社会作りを目標に行動していくことができる。	規則や法令を遵守し、社会的・科学技術者の倫理観を持って適切な判断をしながら社会に貢献できる力を持っている。		
		・自然や社会現象、身の回りのものを科学者の目で見ると、社会のニーズの洞察と探求 自然や社会の諸現象や身の回りの科学的現象を観察し論理的に事象を考察する力。専門分野に強い関心を持ち計画的に探求していく姿勢。	専門分野で社会的に要求されている技術や事象に対して、その意味や意義、重要性が理解できる。	社会で問題となっている専門分野に関わる課題やニーズを認識でき、その問題点となっている要因、解決すべき原因を説明することができる。	社会的に要求されている課題について、その要因を説明でき、解決するためのいくつかの方法を提案できる。	社会的に要求されている課題について、解決するためのいくつかの方法が提案でき、研究する環境があれば計画を立てて検討していく力がある。	